令和元年度事務事業評価シート（平成30年度実績）

◎基本情報

事務事業名	市民協働のまちづくり推進事業	担当部署	市民環境部　市民協働推進課
総合計画体系		根拠法令計画など	鳴門市自治基本条例 市民との協働のまちづくり行政行動指針
基本政策(大項目)	4 おおきく躍動みんなで創るまちづくり	事業期間 開始	平成 23 年度
政策(中項目)	1 全員参加で創るまち　なると		
(小項目)	市民参画・市民協働		
施策	1 市民参画・市民協働の推進	終期	未定
基本事業	3 協働によるまちづくりの推進		

◎事業概要（PLAN）

事業対象	誰(何)を対象にしているか	☐個人　☐世帯　☐団体　☐その他　☐内部管理 市民等、行政
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	自治基本条例に掲げる市民等が主役のまちづくりの実現に向けて、市民等と市が、適切な役割分担のもと、互いに補い合いながら協働事業に取り組む。
事業計画	30年度に何を計画していたか	①市民協働推進本部会議等を開催することにより、協働のまちづくりが拡充していくための環境整備に努める。②「WeLoveなるとまちづくり活動応援補助金」については、引き続き「行政提案型部門」を設置、「なると第九」アジア100周年を迎える年であることから「魅力ある『なると第九』を発信しよう！」をテーマに設定し、主体的にまちづくり活動に取り組む団体の活動促進と経済的自立に向けた支援を行う。③市公式ウェブサイト、市民協働のfacebookや地域デビュー手引書を活用し、シニア世代の地域デビューの促進を図る。④市民の活動を支援するため、軽トラックやワイヤレスマイク等の貸出しを行う。

成果目標	事業目標の達成度合	指標名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	単位
		市民との協働事業数	140	140	140	150	150	事業

◎実施結果（DO）

事業実施内容	30年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	①市民協働推進本部会議及びワーキンググループを開催し、より効率的・効果的な職場内研修の実施内容等について検討した。②「WeLoveなるとまちづくり活動応援補助金」について、引き続き行政提案型部門制度を継続し、地域の課題解決につなげていけるよう支援を行った。③NPO法人の設立・運営等の相談に引き続き対応しながら、市公式ウェブサイト内「市民協働のまちづくりコーナー」を通じて、まちづくりに関する情報の集約をするとともに情報発信を強化し、市民の主体的なまちづくり活動のサポートを行った。④市公式ウェブサイトに加え、Facebookも活用し、協働のまちづくりに関する情報発信を強化し、市民の主体的なまちづくり活動を支援した。⑤地域デビューの促進を図るため、市公式ウェブサイトにおいて各種団体等の情報を掲載するとともに、地域デビュー手引の周知に努めた。⑥市民の地域活動を支援するため、貸出し備品にテント3張りを新たに追加し、貸出しの周知を市公式ウェブサイト等で行った。
事業実施手法		☑市実施　☐一部委託　☐委託　☑補助金　☐その他

指標名			29年度実績	30年度実績	元年度目標	2年度目標	3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	市民協働のまちづくりウェブサイト更新回数	47	68	70	70	70	回
	2	市民協働のまちづくりfacebook更新回数		132				回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		市民との協働事業数	161	165	―	―	―	事業
		目標達成率(実績/目標)		117.9	―	―	―	%

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

（千円）

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成30年度	当初予算額	0	0	0	2,500	855	3,355
		補正予算額	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	0	0	2,500	855	3,355
		決算額	0	0	0	2,492	803	3,295
		繰越額	0	0	0	0	0	0

人件費	正規職員(7,321千円/人)	臨時職員(2,125千円/人)	総人件費	総事業費
	1.2	0.3	9,423	12,718

【鳴門市行政評価】

【事務事業名：市民協働のまちづくり推進事業】

	年　度	29年度決算	30年度決算	元年度	2年度	3年度
事業費推移	事業費	5,004	3,295	2,933	2,933	2,933
	うち一般財源	1,362	803	433	433	433
	人件費	9,428	9,423	9,423	9,423	9,423
	総事業費	14,432	12,718	12,356	12,356	12,356

◎項目別評価（CHECK）

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		広報やウェブサイト、facebookによる情報発信を行い、情報や周知を広く行えた。
	効率性	A:効率的だった		事業の効率性の観点から、特に問題はなかった。
②成果に対する評価	指標名	市民との協働事業数		目標を超える協働事業数達成できた。
	目標	140	事業	
	実績	165	事業	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		B		協働事業数は目標を超えたが、自治基本条例の理念を十分浸透させる余地はまだあることから、B評価とする。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	自治基本条例の理念の浸透を図るため、引き続き周知・啓発を行うとともに、職員研修の充実を図るなど職員の意識改革が必要である。 「WeLoveなるとまちづくり活動応援補助金」については、より地域の課題解決につながるよう制度の見直しも含め検討していく。 町内会未加入の方々に、地域の活動等に興味を持ってもらえるような周知方法を検討していく。

今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	R1年度	①市民協働推進本部会議等を開催し、協働のまちづくりが拡充していくための環境整備を図る。②「WeLoveなるとまちづくり活動応援補助金」については、文化・芸術活動、自転車の活用推進・地域内組織間の連携をテーマにした「行政提案型部門」と「市民提案型部門」を設定し、市民活動団体が主体的に取り組めるよう支援を行う。③まちづくり活動に関し市公式ウェブサイトの「市民協働のまちづくり」コーナー、「うずしおくん・うずひめちゃんのFacebook」を活用し、積極的に情報を発信する。④町内会未加入者に「町内会加入促進ちらし」を配付し、町内会加入や地域活動への参加を促進していく。
	R2年度	R1年度と同様